

# 水辺・絆プロジェクト2024 ⑪特定非営利活動法人都市 デザインワークス 事業実施報告書

事業名	ひろせがわ すいじょう 広瀬川の水辺フットパス・ウィーク	実施場所	みやぎけんせんだいしあおぼく 宮城県仙台市青葉区
申請者	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 都市デザインワークス	関連河川名	なとりがわすいけい ひろせがわ 名取川水系広瀬川

## 1. 目的

本事業は、東日本大地震の影響を受けた仙台城エリアに位置する広瀬川の河川敷が、全国都市緑化仙台フェアに合わせて一部が整備され、そのレガシーとして河川空間を活用する形で、市民・観光客が交流するまち歩きイベントを実施するものである。これにより、県内有数の観光地である仙台城エリアと、翌年に開園150周年を迎える西公園および都心エリアをつなぐ広瀬川が、新たな立ち寄りスポットとして定着して、仙台都心部の回遊性向上、そして人々の心身の健康を増進させる効果を期待するものである。

## 2. 実施体制(結果報告)

主催	特定非営利活動法人 都市デザインワークス
共催	青葉山エリアマネジメント
協力	ターンアラウンド
協賛	株式会社橋本店 株式会社ユーメディア 株式会社仙台協立
助成	東北地方整備局「水辺・絆プロジェクト」
備考	仙台市広瀬川創生プラン「せんだいセントラルパーク」

## 3. 実施内容(開催日時・場所 など)

- 1)現地調査[4/20,5/2]
- 2)計画策定[4/10-5/13]
- 3)関係機関協議[5/2,9]
- 4)プレスリリース[5/24]
- 5)まち歩きイベント「広瀬川フットパス・デイズ」実施  
・日時:5月29日(水) 12時～19時  
5月30日(木) 7時～19時  
5月31日(金) 7時～18時  
・場所:広瀬川(仙台市青葉区川内追廻～大手町)  
・内容:期間中に浮き桟橋を設置

## 4. 参加対象・参加者数

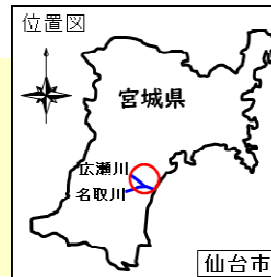
参加対象:市民、観光客

参加者数:約2,800名、ペット78匹

## 5. 創意工夫した点・配慮した点・苦労した点 など

創意工夫した点:

- ①市民ボランティア総勢40名を巻き込んで、橋の設置・撤去を短時間かつ安全に行なった。市民ボランティアのアンケートでは「楽しかった!」という声が多かった。パーツの運搬にかなりの時間を要し、かつ初めて会う人同士の作業であったが、その時間も楽しく感じたと話すボランティアがいた。
- ②近隣施設でのイベント計画を事前に把握した結果、相乗効果があり、とくに外国人の方にも渡ってもらうことができた。



## 6. 総評(実施効果や今後期待される効果、今後に向けての反省点・改善点など)

- ①マスコミ報道が多数あり、河川への注目が非常に高まった。
- ②朝・夕は散歩やランニングの地元利用が多数あり、それ以外の時間帯は若者からお年寄りまで、また会社員や観光客など、多様な属性のユーザーが利用し、同じ空間体験を満喫していった。
- ③団体ではなく個人という形で様々な協力が得られたほか、民間企業からは協賛金という形で賛同を得られた。
- ④広瀬川での活動人材に対して大いなる刺激となったほか、今後の広瀬川プロジェクトにも手伝いたい申し出が多数あった。
- ⑤浮き桟橋という仮設ではあったが、水面に近い場所を渡る橋が必要だという十分な実証ができた。

## 7. その他感想等(ご自由に記入してください)

非出水期での利活用の展開に対するハードルの低さを把握できたことが、今回の最大の収穫であり、今後はその時期に焦点を絞って、広瀬川による仙台都心の魅力創出に働きかけていきたい。

水辺から地域を元気に  
水辺・絆プロジェクト

(様式7-2)

# 事業実施報告書(写真)

事業名

広瀬川の水上演習・ウィーク



3日間設置した浮棧橋



広瀬川の両岸をつなぐ回遊性の向上



大人も子どももペットも新しい体験を楽しむ



市長のほか副市長・区長が訪問



ポケモンGOフェスとの相乗効果



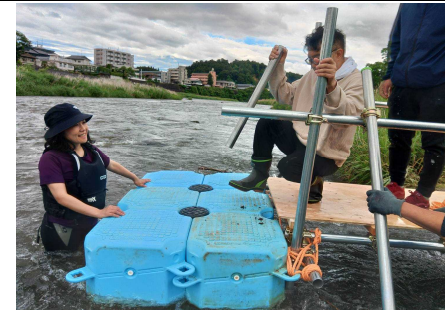
河北新報社による取材記事



夜営による24時間監視



車両によるパーツ運搬の様子



パーツ設営の様子

⑪特定非営利活動法人都市デザインワークス

水辺から地域を元気に  
水辺・絆プロジェクト